



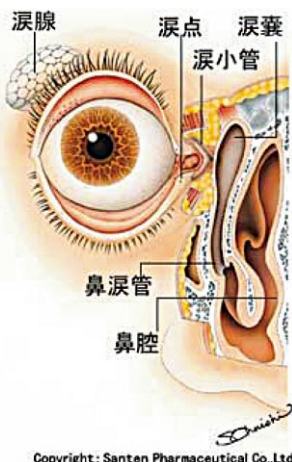
涙が出る人、溜まる人 涙道閉塞症が原因？

涙は悲しいときに出る単なる感情表現の一部ではなく、眼にとって大変重要な役割を果たしています。涙にはいくつかの種類があり、眼球表面を乾燥や雑菌から守ったり、汚れを流したりします。涙は眼表面にバランスよく存在することで病気から眼を守っているのです。しかし、日常生活で涙が出すぎると困った症状です。涙が常に溜まる、眼の周りが赤くただれて痛い、目ヤニが常に眼の周りについて汚いなどの苦痛を伴う場合もあります。今回は涙が出すぎてしまう状態についてお話します。

佐久市立国保浅間総合病院 眼科 佐々木 秀憲 医師

涙が流れる道（涙道）

眼の表面には、ある程度の涙が常に存在し、新しい涙が絶えず入れ替わっている状態です。古くなった涙は目頭のところにある涙道と呼ばれる涙の通り道を通り、鼻の中へ抜けていきます。悲しくて泣いたときに鼻水が多くなるのは、涙が鼻に抜けていくためです。涙道は目頭の涙点と呼ばれる上下2箇所ある入り口から始まります。上下2つの入り口から上部涙小管、下部涙小管があり、やがて2つは一緒になり、総涙小管となります。その後涙嚢と呼ばれるやや袋状になった場所へ出て鼻涙管となり、鼻の中の鼻涙管開口部に到達します。その長さは大人で約4 cmから5 cmの長さになります。



Copyright: Santen Pharmaceutical Co., Ltd

涙の量がなぜ増える （涙道の病気）

涙が出る人の多くは、涙道が狭い場合や、完全に閉塞するのが原因です。年齢とともに自然と涙の排泄能力が低下し、涙の中の成分が詰まって細い涙道を狭くしたり、閉塞したりするので。結膜炎も涙道を閉塞する原因になることがあります。涙の通り道が詰まれば自然と涙は眼の表面にあふれてきます。眼の中に溜まることのできる涙の量は30μリットル（100分の3 ml）しかありません。当然あふれた涙は眼からこぼれ落ちることになります。涙道が完全に詰まった状態を涙道閉

塞症といえます。そして涙道に雑菌が溜まり炎症が起これば、涙嚢炎または涙小管炎などを起こし、痛みが出たり、腫れたりしてさらに涙道は詰まります。このような場合、炎症が良くなった後でさえも涙道は詰ったままとなります。

涙道の詰りをとるためには （涙道の治療）

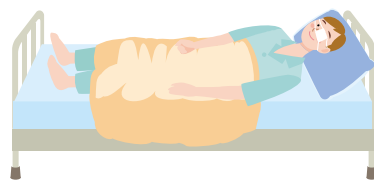
涙道の詰りをよくする方法は大きく分けて2つあります。プロローピングといわれる涙道をつまりを針金のようなもので突いてとる方法と、涙嚢鼻腔吻合術（DCR）といわれる手術です。



通常のプロローピングは盲目的にプロロープと呼ばれる針金を涙道に進めて、閉塞している部分を解除します。そのため確実に本来の涙道にプロロープが入っているかは不明です。現在、浅間総合病院の眼科では、このプロローピングを涙道内視鏡と呼ばれる細い内視鏡で涙道閉塞を確認しながら行うっており、より確実に本来の涙道を再建できるようになりました。涙道の閉塞を解除した後でシリコン製のチューブを涙道に挿入し再閉塞しないように約3ヶ月間シリコンチューブをそのままにします。チューブが入っている間は痛みや、違和感などはほとんどありません。約70%から80%くらいの方が涙

の症状が内視鏡によって改善しています。

涙嚢鼻腔吻合術（DCR）は鼻の付け根の骨に穴を開けて涙道を人工的に作り直す本格的な手術です。涙道内視鏡では開通させることができな



ないような涙道内の閉塞に適応となります。何年も涙道閉塞が続く、常に目ヤニが出て炎症を慢性的に起こしている慢性涙嚢炎と呼ばれるような状態に適応となります。最後に、涙の出る原因はさまざまな誘因がいくつも重なり合って起こっている場合があります。涙の量と質、まぶたの状態、結膜の状態、涙道の状態などによって異なります。必ずしも涙道閉塞だけが流涙の原因ではない



ということですから。そこで涙の状態を正しく理解するために、眼科専門の医師に相談することが大事であると考えます。